

校 歌

大島商船高等専門学校校歌

岡本 暢也 作詞
星野 哲郎 補作
桜田 誠一 作曲



大島商船高等専門学校校歌

- 一、飯のの山は みどりに明けて
向学の士気 麓を囲む
若者たちは 時代をみつめ
世界へ向けて 技を競い
潮の香めぐる 大島の
わが学舎に 望みはたぎる
- 二、笠佐の島に 春かえる日も
鳴門の瀬戸に 秋立つ日にも
若者たちは 真理を究め
未見の我を 磨きだす
この透きとおる 窓の中
惜春の情 あふれてやまず
- 三、七つの海に 命を浮かべ
青春賭けた 伝統の血は
若者たちの 腕を流れ
平和の鐘を うち鳴らす
ロマンを愛す 大島の
祈りははるか 銀河をわたる
- 四、俗塵洗う 琥珀の海に
夕陽はうたう 未来への讃歌
若者たちは 肩くみあって
はてなき夢を 語りあう
コンパスの旗 永久を指し
わが学舎に 理想は宿る